

賀寿 (長寿歳祝)

両親や祖父母をはじめ、一家のものが長寿であることほどおめでたいことはありません。還暦の祝いをはじめ、ある一定の年齢に達すると一家そろって長寿の祝いをします。

◆還暦 (六十一才)

十干十二支の組み合わせは六十通りあり、自分の生まれた年と同じ干支がまわってくるのはちょうど六十一年後になります。干支が一巡して元に戻るというので、生まれ直すという意味から、赤い頭巾やチャンチャンコが贈られます。本卦がえりという場合もあります。

◆古希 (七十才) 中国詩人杜甫の詩「人生七十古来稀なり」という言葉から。

◆喜寿 (七十七才) 「喜」の略字が七・十・七と分解されることから。

◆傘寿 (八十才) 「傘」の略字が八・十に分解できることから。

◆米寿 (八十八才) 「米」が八・十・八に分解できることから。

◆卒寿 (九十才) 卒の俗字「卒」が九・十に分解できることから。

◆白寿 (九十九才) 「百」から一をとると白という字になることから。

◆上寿 (百才) 六十才の下寿、八十才の中寿に対するもの。

◆茶寿 (百八才) 「茶」が二つと八十八とに分解され、

合計が百八となることから。

◆皇寿 (百十一才) 「皇」が白と王に分解され、白が九十九、

王が十二ということから、合計百十一となることから。



御祈願の際、賀寿にあわせた半纏を着用の上、お参りをいたします